

アルビレックス・レーシング・チーム

PRESS RELEASE

Albirex-RT

CAR No.34

2014/5/25

CAR No.35

MOTOR FREAK

スーパーFJ 東北シリーズ 第2戦

Beyond

佐藤 哲也

加藤 泰賀

アルビモーターフリークギア ED

アルビビヨンドGIA ミネテック STRED

CAR No.36

CAR No.37

M.I.D Japan Inc.
Mitsui Impress Development

MAKE WINNER

早坂 祐希

小村方 喜章

アルビ RT 玉三郎 EDGIA

アルビメークウィナーED10V

5月25日(日) 予選・決勝

スポーツランド菅生 1 LAP=3.704km 出走: 5台

予選結果: 早坂選手 2位 小村方選手 3位 加藤選手 4位 佐藤選手 5位

決勝結果: **早坂選手優勝** **小村方選手 2位表彰台** **加藤選手 3位表彰台** 佐藤選手 4位

早坂選手優勝、小村方選手2位、加藤選手3位でアルビレックス・レーシング・チームが表彰台を独占!



■5月24日（土） 10時55分予選スタート

天候：晴れ コース：ドライ 気温：22℃ 湿度：41% 路温：℃

今回は土曜日に予選を行い、翌日曜日に決勝を行うスケジュールとなる。

早坂選手がトップタイムをマークしたものの、空気圧調整のためピットインした際にピットレーンの速度違反を犯してしまい、予選ベストタイム抹消のペナルティを受けてしまう。これにより片桐選手がポールポジションとなった。早坂選手は2番手、小村方選手、加藤選手、佐藤選手と続いた。

■5月25日（日） 10時3分決勝スタート

天候：曇 コース：ドライ 気温：23℃ 湿度：45% 路温：29℃

2番グリッドの早坂選手が好スタート。1コーナー進入までにポールの片桐選手の真横に並ぶと、イン側の早坂選手が1コーナーを制しトップに浮上。3番手スタートの小村方選手もスタートを決め、その2台の後ろにピッタリつきチャンスを伺うが、自らのミスから差が広がってしまい、上位2台でのトップ争いが展開される。

2番手に落ちた片桐選手だったが、早坂選手のすぐ後ろにつきプレッシャーをかけていく。しかし3周目、片桐選手がスローダウン、3番手の小村方選手にかわされるとそのままピットに入っていく、リタイヤとなった。

その後は各選手単独走行となり、そのまま早坂選手が初優勝、2位に小村方選手、3位に加藤選手と続き、アルビレックスレーシングチームが表彰台を独占した。早坂選手は決勝中のファステストタイムもマークした。

○佐藤選手コメント

第1戦よりもペース的にはよかったので、基本的な動作をしっかり身につけて次のレースに望みたいです。

○加藤選手コメント

表彰台に立ててうれしいです。この結果を続けられるよう頑張っていきたいです。

○早坂選手コメント

初優勝できてとにかくうれしいです。スタートがうまく決めれたので、1コーナーで相手の前に出ることができました。この流れのままシーズンの最後にはシリーズチャンピオンを獲得できるよう次も優勝したいです。

○小村方選手コメント

3位表彰台に立つことができました。ただ、まだまだ改善すべき点やミスがあるので、少しずつ直していきたいです。

○中村監督コメント

今年度ようやく勝つ事ができました。

早坂選手が予戦トップを取るも、ペナルティーでベストタイム抹消と・・・

しかし、決勝はとにかく落ち着いて行こうと話しました。早坂選手自身初優勝でこちらもほっとしています。

小村方選手は今年、学習意欲が高く、常にメモをとっているので少しずつ速さという結果につながってきています。シリーズを見つめ今後もチャレンジしてほしいです。

加藤選手は車の動かし方をかなり理解でき、行動に移せるようになってきました。今後に期待します。

佐藤選手は基本動作でまだ宿題があり努力を続けてほしいです。

今後もこの良い波に乗り続けるよう努力いたしますので応援宜しくお願いいたします。







P PLUS  Nankai Plus.Co.,LTD.

鈴木会計
埼玉・川口
<http://www.tkcnf.com/eds>



Moty's  **新潟日報** 

AUTO SYSTEM

SPN
SPEED PARK NIGATA

- ・ Zip Auto ・ KAISHIN AUTO ・ 榎本自動車整備工場 ・ 山田モーター
- ・ 東栄ボディー ・ Car Factory 雅美 ・ 堀モータース ・ みがき屋エンマ
- ・ Power Station ・ カイツ自動車 ・ トップオート ・ エムズ